

## からだ館通信 51号

2018年8月30日発行

バックナンバーは <http://karadakan.jp> でお読みいただけます。

からだ館健康大学

がんピアサポーター養成講座  
がんと支える仲間になる参加無料  
申込み必要

一人に一人ががんになる時代、あなたの経験が誰かを支えることができるかもしれません。不安な気持ちに上手に寄り添うにはどうしたらいいのか、一緒に学びませんか？  
全3回の開催を予定していますが、すべての会に参加できなくても大丈夫です。

## 第1回

日時 10月5日(金) 午後1時30分～3時30分

内容 講演『がん患者さんとそれに関わるひと、環境に触れてみて』

講演者 西村詠子先生 (NPO法人がんとむきあう会理事長)

講師 グループワーク

対象 がん経験者、ご家族

がんを支援する立場にある方  
(医療者、相談員など)場所 鶴岡タウンキャンパス  
致道ライブラリー内メディアスタジオ

定員 24名 参加費 無料

お申込・お問合せ先 からだ館 29-0806



## 西村詠子先生プロフィール

石川県金沢市にて、医師でがん患者だった御主人の意思を継ぎ、『元ちゃんハウス』で日々がん患者さんに寄り添っています。

御主人の闘病、ご自身の病气、家族の想い、『元ちゃんハウス』の成り立ち、そこに集う方々との出逢いなどを各方面で講演されています。

※2回目は12月、3回目は2019年になってからを予定しています。

## からだ館が共催するイベントを紹介します

## 難病交流会 in 庄内



難病をお持ちの方のための交流会です。今まで庄内保健所で行っていましたが、より多くの方に参加してほしいと、会場を変更して行われます。

自由に語り合うことで、悩みや不安が解消できたり勇気をもらえるかもしれません。

日時 10月27日(土) 午後1時～3時  
会場 鶴岡先端研究産業支援センター  
共用棟会議室

主催 山形県難病相談支援センター  
参加料 無料

事前申し込み 必要

お問い合わせ・申し込み先

山形県難病相談支援センター

E-mail [nanbyou@ebony.plala.or.jp](mailto:nanbyou@ebony.plala.or.jp)

Fax 023-631-6676

Webサイトはこちら

<http://www17.plala.or.jp/nanbyou-yamagata/>

第4回 地域連携フォーラム in 庄内  
医療との連携における新しいちいきづくり

最後まで安心して暮らしていくためには、医療や介護は欠かせません。医療や介護が地域にもっと身近なものになってほしい。

そんな課題を解決しようという動き「医療介護と地域の連携」があちこちで起きています。

新しい地域づくりの「今」を感じてみませんか？  
からだ館も発表者として参加します。



日時 9月8日(土) 午後1時20分～4時50分  
会場 鶴岡市先端研究産業支援センター  
レクチャーホール

主催 NPO法人全国連携実務者ネットワーク  
参加料 一般2千円 学生千円 (当日持参)

事前申し込み 必要

※内容の詳細は大会HP(下記URLまたは右のQRコードからご覧ください。)

<http://www.renkei-network.net/>

お問い合わせ からだ館 0235-29-0806



# 自由研究おうえん隊 命を守れ！君が防災リーダーだ 8月3日開催しました

今年のテーマは「防災」。楽しみながら、命を守るために危険を察知する考え方や困った時に使える技を教えてもらいました。

地震やもしもの時に身を守るポーズを音楽に合わせてダンスで覚えめました。こちらは「だんごむしのポーズ」



慶應義塾大学の学生が演じる災害が起こった時の寸劇を見てクイズをして沢山のことを学びました。



お菓子のじゃがりこから非常食になる「ポテトサラダ」を作って試食。結構好評！



水の入ったペットボトルと100円ショップでも買えるLEDライトで非常時に使えるランタン作り。



参加してくれた一人一人がそれぞれの家庭で、また家族だけでなく地域で、この日体験したことを何回も話題にしてくれることが、人々の命を守るにつながると学びました。

## ここにご倶楽部

毎月第1金曜日に開催しているがん患者さんやご家族のためのサロンです。



治療中や定期検査前の不安な気持ちをお話したり、治療とは関係なく近況報告したり、お好きな飲み物を飲みながら、過ごしませんか？

8月、抗がん剤の副作用に悩む方の話に、同じような経験をした参加者からアドバイスがありました。心強い言葉だと感じました。



<開催日> 毎月第1金曜日10時~11時半  
 <会場> 鶴岡タウンキャンパス3階 セミナー室  
 <会費> 300円  
 申し込み不要です。問い合わせ ☎0235-29-0806  
 今後の開催予定 9/7 10/5 11/2

## 編集後記

7月からスタッフになりました、宮越麻里です。思いがけず病を得て、支えが欲しくてここにご倶楽部に参加して皆さんと出会いました。「ご恩返し」とはいかないまでも、皆さんのお気持ちに寄り添っていけるスタッフになれるよう勉強していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



## リレー闘病記 ~花咲かせびと~

からだ館通信では病を抱えながらも「今、この時」を生きる方の闘病記を掲載しています。

今回のシリーズ Mさんは40代に胃潰瘍になり悪性に移行する可能性があることから胃を3/4切除。その後人間ドックで卵巣嚢腫がみつかり摘出手術を受け、その後、頭痛と目の不調を感じていたある日、いつもと何かが違うと感じていた。

### 《70代Mさんの場合 パート4》

夕食のデザートにサクランボを食べたところまでは覚えているのですがその後の記憶がありません。主人がいつもと違う様子の私に気が付き長女に電話してくれ、すぐに救急車で病院に運ばれました。検査の結果、脳血栓症（左手脱力、言語障害、右目かすみ）が見つかりました。あとで思い返すと、脳梗塞特有の症状がそろっていたにも関わらず、なにもできなかった全く無知だった自分を反省しましたね。それでも家族の対応が早かったので内科的な処理でなんとか退院ができました。幸い特に後遺症もでませんでした。

その後4年間は定期的にMRI検査をしていた、脳血栓症から4年後、今度は右脳動脈瘤が見つかったのです。右脳動脈瘤手術を受けるために、まず一泊入院でカテーテル検査を行いました。

次号につづく